

第187号

会津坂下普及所たより

みどりのこだま

新嘗祭献穀米御田植祭式



小松さん御夫婦による御田植えの様子

ほがらかな青空が広がる5月30日、新嘗祭（にいなめさい）献穀献納式に納める米の御田植祭式が行われました。新嘗祭とは天皇陛下がその年に収穫された穀物を神様へお供える祭事であり、明治6年以降、11月23日に行われています。

福島県では毎年2名の篤農家が新米を献納しており、今年はいはら町の小松正信さんが献穀者の一人として選ばれました。小松さんは昭和44年に会津農林高校を卒業し、直後に就農、それから53年間、いはら町西

方地区を中心に地域農業の担い手として農業を営み、今ではいはら町の水田作付面積の3割にあたる12haを作付けてしています。

御田植祭式では、宮司による祝詞奏上の後、奥様とともに県オリジナル米「天のつば」の田植えが行われました。

会津農林事務所いはら町農業普及所では収穫までを厳かに支えています。

（主査（キャップ） 棚橋）

頑張ってます!! 新規就農者紹介



安藤香奈子さん(三島町)
経営内容:花き(宿根カスミソウ)

宿根カスミソウ栽培は一人でも経営できると聞いて、自分に合った働き方ができると思い、興味を持ちました。また、宿根カスミソウは研修体制が確立されており、農地の目処も立ったので、就農を決めました。

現在は宿根カスミソウを19a栽培しています。今後は将来に向けて作業の効率化や省力化を進めながら、できるだけ長く農業を続けていきたいです。(本人)



写真右は妻のみゆきさん

山田博久さん(会津美里町)
経営内容:水稲、果樹

父親が残した果樹園を放置できず、家族とともに地元に戻り令和2年に就農しました。現在、水稲+果樹(リンゴ、モモ、ブルーベリー等)でリスク分散しながら、安定収量を目指して技術を修得中です。

今後は、会津ブランドや福島ブランドなどの地域限定品種を積極的に生産、販売し、経営を発展させたいと考えています。(本人)

昭和村立昭和中学校の3年生が「昭和かすみ草」をPR

令和4年7月8日(金)午前6時45分から、東京都中央卸売市場大田市場花き部にある卸売会社の株式会社フラワーオークションジャパンの競り場で、昭和村立昭和中学校3年生の3名全員で昭和村と「昭和かすみ草」の魅力を買参人にPRしました。午前7時の競り開始直後に「昭和かすみ草」3ケースが競りにかけられましたが、あっという間に取引されてしまいました。

その後、生徒たちは機械で行う競りの様子や色々な産地から出荷されてきた花々が仲卸に陳列されている状況を見学しました。

3名とも日本一の花き市場である大田市場での「昭和かすみ草」の待遇を見



競り場にて昭和村かすみ草をPRしている様子

て、村の誇りと自信を感じていたようでした。

当所では今後とも「昭和かすみ草」の生産を振興していきます。

※「昭和かすみ草」は昭和村・柳津町・三島町・金山町の4町村の生産者が栽培しています。(主査(キャップ)平野)

展示ほ・実証ほの取り組み

会津坂下農業普及所の様々な実証ほの取り組みについて紹介します！

水稻直播の実証ほ

今年度から、当所では、国の「みどりの食料システム戦略推進交付金（グリーンな栽培体系への転換サポート）」を活用し、水稻の省力化技術と環境負荷軽減技術の普及を進めています。

この取り組みでは、省力化技術として水稻直播栽培に着目していることから、3つの直播技術（①ドローン直播、②代かき同時浅層土中播種、③乾田直播）の実証ほを設置しました。

本実証ほで、令和4年5月20日に播種作業実演会を開催し、会津坂下管内の農業者のほか、関係機関団体、各農林事務所担当者等約20人に播種作業を見学してもらいました。また、7



月6日に開催した現地勉強会では、実証ほの生育状況を確認し、今後の管理や課題について検討しました。

今後も実証ほを運営しながら、皆さんに現地を見てもらえる機会をつくっていきます。（技師 石川）

目的	内容	調査地
野菜における高温対策の取組 近年の高温・乾燥といった異常気象の影響による野菜の収量・品質低下に対して、効果的な取組について調査しています。	◆ICT活用園芸産地革新モデル確立事業実証ほ 施設キュウリ栽培においてミスト噴霧設置による昇温抑制効果を、環境制御装置で温度や湿度等を計測しながら実証します（2か所）。	会津美里町 会津坂下町
	◆施設きゅうり高温対策実証試験 赤外線反射フィルムで被覆した施設内の昇温抑制効果を検証します。	会津美里町
	◆さやいんげん高温対策試験ほ 防虫ネット被覆栽培で遮光ネットを被覆した場合の昇温抑制効果や生育及び収量への影響について調査します。	会津美里町
果樹の取り組み 輸出用カキの果実品質向上のための資材試験や、モモやリンゴなど化学農薬だけに頼らない環境にやさしい取り組みへの実践に対する実証を行っています。	◇カキの果面障害軽減対策 カキ「会津身不知」の果面保護と着色促進のための資材試験を実施します。	会津坂下町
	◇主要病害虫の総合的防除の実証 モモせん孔細菌病、リンゴのハダニ類、ナシ黒星病、ブドウのクビアカスカシバ対策について実証しています。	会津美里町 会津坂下町
鳥獣被害対策の取り組み 少人数で取り組むことができる鳥獣被害対策の実証を行っています。	◆鳥獣被害対策モデル集落 ワイヤメッシュ柵と防獣ネット柵の試験設置を行い、それぞれの鳥獣被害防止効果と、柵の設置及び維持管理に要する作業負担の調査を行います。	昭和村

会津坂下農業普及所職員紹介

所長挨拶

今春4月に会津坂下農業普及所長に着任いたしました江川と申します。今回の異動により、私を含めて8名が新メンバーとして加わりました。

農業者、市町村、JA等との連携を密にして地域農業振興のため、新規就農支援、各生産振興、鳥獣被害対策など山積する課題に対して、会津坂下農業普及所の職員一同、全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



(撮影時欠席) 酒井 麻理子 (花き・坂下)	佐々木 夏輝 (花き・坂下)	星野 輝彦 (野菜特産・坂下)	石川 涼平 (作物・坂下)	大島 健司 (畜産・坂下)	那知上 一房 (農地中間管理機構駐在員・坂下)
(撮影時欠席) 鈴木 光博 (モーターリング業務補助・坂下)	薄 真昭 (果樹・坂下)	須佐 宏信 (果樹・坂下)	平 敏伸 (作物・金山)	浅野 千春 (野菜特産・坂下)	須佐 芽生 (会計年度任用事務職員・坂下)
(撮影時欠席) 雪下 まゆみ (会計年度任用事務職員・金山)	主査(キャップ) 棚橋 紺 (作物・坂下)	次長兼 地域農業推進課長 橋本 伝示 (作物・坂下)	所長兼 農業振興普及部主幹 江川 孝一 (花き・坂下)	経営支援課長 岩淵 幸治 (果樹・坂下)	主査(キャップ) 平野 朝子 (花き・金山)

令和4年度は会津坂下農業普及所職員12名、金山普及所職員2名の計14名で頑張ります。よろしくお願いいたします。

◆内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町656-1 (電話) 0241-54-2801